

平成 20 年度

学生による授業アンケート集計結果

吉備国際大学

1 はじめに

吉備国際大学では、大学教育の一層の改善と充実を組織的に図る目的で、平成 10 年度および 11 年度の 2 年間、試行的に社会学部の学生を対象に「学生による授業アンケート」を実施した。この試行をもとに平成 12 年度からは、社会学部、保健科学部、社会福祉学部、政策マネジメント学部の順に、そして平成 18 年度からは、全学部の学生を対象に授業アンケートを実施している（表 1-1）。

授業アンケートは、年度毎に集計され、本学の教育活動の現状と今後の課題とともに報告書としてまとめられており、これまで作成された報告書は、平成 18 年度から本学のホームページに掲載され、広くアンケート結果の公表を図っている。また、アンケートの集計結果は、各授業担当教員にフィードバックされ、講義やカリキュラムの改善のための資料の一つとなっている。

平成 20 年度に自己点検・自己評価委員会教育指導部会が行った「学生による授業アンケート」調査の特徴、およびそれと関連する調査は以下の三点である。

① 授業アンケートで用いた質問項目は適宜見直されてきたが、今年度は昨年度と同一の質問項目とし、経年的な比較検討を図ったこと。

② 従来年度は、前期に開講された講義形式の科目あるいは後期に開講された講義形式の科目のいずれかに調査対象を限定してきたが、今年度は前期開講科目に加えて後期開講科目の一部に対しても調査を実施したこと。

③ 授業アンケートの質問項目の有用性やアンケート結果の授業への活用状況、および授業公開（参観）に関する是非や問題点を把握するため、教員を対象としたアンケート調査を実施したこと。この調査は、学生にとってより有効性の高い授業そしてより効率的な授業への取り組みとして新たな展開の試みである。

2 「学生による授業アンケート」の調査結果

(1) 質問項目の構成

授業アンケートの質問項目は、学生自身についての「授業態度」の評価（3 項目）、学生による「授業の内容」への評価（6 項目）、「教員の取り組み」への評価（12 項目）の 3 因子 21 項目に加え、「総合評価」（1 項目）の計 4 領域から構成されている。各項目は「1：全くあてはまらないそう思わない」～「5：よくあてはまる」の 5 段階評定で回答を求めている（資料 1）。

(2) 調査対象

「学生による授業アンケート」は、前期開講科目を対象に平成 20 年 7 月 4 日から 30 日にかけて実施した。また、前期に開講科目のない教員については、後期開講科目を対象に

平成 20 年 12 月 1 日から 19 日にかけて実施した。

調査を実施した教員は、常勤 150 名（156 名中）、非常勤 80 名（161 名中）、計 230 名であった。調査を実施した科目数は 150 科目（521 科目中）であった。

授業アンケートへの回答数は、20 年度が 17645 件、19 年度が 17912 件であった。平成 20 年 5 月 1 日現在の本学の在籍者が 2769 名であることから、1 人の学生につき、平均約 6.5～6.6 科目回答していることになる。

(3) 平成 19 年度と平成 20 年度の結果の比較

「授業内容」、および「教員の取り組み」については、評定の平均値はいずれの項目も、平成 19 年度が 3.6～4.4、平成 20 年度が 3.8～4.5 と高い評価であった。標準偏差も 0.8～1.1 とばらつきが小さいことから、どの科目も一様に高い評価を得ている（図 2-1）。さらに、平成 19 年度に比べて 20 年度で評定値が低下した項目は皆無であった。

以上より、本学の授業は一定の高い評価水準で維持されているものが多いと考えられる。

(4) 「教員の取り組み」と「総合評価」の関連

各因子のうち、「授業態度」は学生自身についての評価であり、授業評価と直接的な関係にはない。次に「授業の内容」や「総合評価」は「教員の取り組み」の結果によって影響を受けると考えられる。一方、教員の授業改善に具体的な手がかりとなるのは、「教員の取り組み」に含まれる各項目であると考えられる。

そこで本報告では、授業への教員の取り組みを改善する視点から、「教員の取り組み」に含まれる項目のうち、いずれが「総合評価」に大きく関連するのかを検討することとした。

そこで、「教員の取り組み」の評定値を説明変数、「総合評価」の評定値を目的変数とした重回帰分析（ステップワイズ法）を行ったところ、表 2-1 のような項目が抽出された。抽出された項目は兩年度とも同一で、「10 教員は授業内容をわかりやすく説明していた」、「15 教員は授業を受けやすい環境をつくっていた」、「13 教員は学生の理解にあわせた授業をしていた」、「7 教員は授業に対して熱意や意欲があった」というものであった。これらの項目が「総合評価」と大きな関連性を持つと考えられ、したがって教員は特にこれら 4 つの点について改善努力を行うことで、学生の授業に対する総合評価を高めうると考えられる。後に述べるが、これら 4 項目は「教員が授業改善に役立ったと考える項目」の上位にも含まれている。

教員が所属する学科ごとに「学生による授業アンケート」を集計した結果を資料 2 に示した。

3 教員を対象とした「学生による授業アンケート」に関する調査結果

(1) 質問項目の構成

教員の「学生による授業アンケート」活用の程度、および授業の充実を図るための一つの施策としての授業公開（参観）の是非を把握するために、教員を対象としたアンケート調査（無記名式（一部の質問項目は記名式））を平成20年11月1日から14日にかけて実施した。アンケート配布数は207、回収数は107、回収率は51.7%であった。

授業アンケートの活用に関する質問項目は、①授業アンケートの有用性の程度（「大いに役立った」～「全く役立たなかった」の5段階評定）、②授業アンケートに用いた各質問項目の有用性の程度（「大いに役立った」～「全く役立たなかった」の5段階評定）、③授業アンケート結果の授業への活用の有無、活用が有の場合は具体的な改善事項の記述、④授業アンケートに相当と考える質問項目数（5つのカテゴリから選択）、⑤授業アンケートに追加すべき質問項目、および具体的な記述、⑥授業アンケートの実施に不都合な月あるいは期間の有無、不都合な月あるいは期間が有の場合はその月あるいは期間の記述についての6項目であった（資料3）。

授業公開（参観）に関する質問項目は、①授業公開（参観）の是非の程度（「非常に良い」～「非常に悪い」の5段階評定）、②授業公開（参観）の可否、授業公開（参観）が可の場合は具体的な授業科目名の記述、授業公開（参観）が否の場合はその理由の記述についての2項目であった（付表3）。質問項目の②については記名が必要となることから、その他の質問項目とは別の質問票を作成し回答を求めた。

（2）調査結果

① 学生による授業アンケート

図3-1に授業アンケートの有用性の程度を示した。「大いに役立った」は24%であり、「少し役立った」を加えると8割以上の教員が授業アンケートは有用であったと回答していた。

一方、授業アンケートに用いた各質問項目の有用性については、評価にばらつきがみられた（図3-2）。「大いに役立った」および「少し役立った」を合わせた割合の高い項目（前述した教員が授業改善に役立ったと考える項目）は、「10教員は授業内容をわかりやすく説明していた」（92%）、「11教員は聞き取りやすい話し方をしていた」（88%）、「2授業で学んだ内容は興味や関心が持てるものだった」（86%）、「14教員は学生の反応や意見を活かした授業をしていた」（83%）、「8教員はよく準備された授業をおこなっていた」（83%）、「13教員は学生の理解に合わせた授業をしていた」（83%）、「7教員は授業に対して熱意や意欲があった」（81%）であり、その割合が8割を超えていた。評価の低い項目は、「9授業で学んだ内容は他者に誇れるものだった」（46%）、「21教員は授業に参考となるシラバスを作っていた」（55%）、「3私は予習・復習などの自主的な学習をした」（57%）、「19教員は適切に課題を出していた」（59%）、「1私は授業によく出席していた」（59%）と6割を下回っていた。

アンケート結果の授業への活用の有無については、7割以上の教員が活用有の回答であった（図3-3）。具体的な活用事項は、「説明の仕方の改善」が24%、「授業内容の改善」が19%、

「教材の改善」が14%、「視聴覚機器等の使用の改善」が11%であった(表3-1)。その他の活用には、「学生の理解度を把握した」、「主体的な授業参加を促した」、「授業時間外に学生からの質問に応じた」、「評価の低い項目を改善した」などがあつた。

授業アンケートの質問数については、質問数が「15から19」が適当との回答が47%と最も高く、次いで「10から14」(25%)、「20以上」(20%)の順であつた(図3-4)。

授業アンケートに追加すべき項目の有無については、追加すべき項目が有との回答が26%であつた(図3-5)。追加すべき質問事項は、「自由回答欄」が39%、「授業内容に関する項目」が23%、「学生に関する項目」が19%であつた(表3-2)。その他の追加すべき質問事項としては、「講義室の整備状況について」、「改善すべき点や高く評価する科目を記述させる」、「アンケートを記名式にする」などがあつた。

授業アンケートの実施に不都合な月あるいは期間の有無については、36%が不都合な月あるいは期間が有であつた(図3-6)。具体的に不都合な月あるいは期間は、「12月から1月」が39%、「7月」が22%であつた(表3-3)。

以上をまとめると、「学生による授業アンケート」は全般的に有用であると評価されており、また授業改善にも活用されていた。しかし、質問項目の評価にはばらつきがみられること、質問項目数は20未満が適当との回答が8割に達していたことから、質問項目の内容および数を再検討する必要はある。

② 授業公開(参観)に関するアンケート

図3-7に授業公開(参観)の是非を示した。授業公開(参観)を「非常に良い」あるいは「どちらかといえば良い」と回答した割合は、「どちらでもない」の回答とほぼ等しく約45%であり、「どちらかといえば悪い」あるいは「非常に悪い」との回答は10%であつた。

授業公開(参観)の可否については、半数以上の教員が自分の授業の公開が可と回答していた(図3-8)。一方、公開(参観)が否の理由としては、「授業公開(参観)の意義や意味、目的や方法が不明である」が36%、「各授業は専門性が異なることから参考にならない、あるいは今後の検討課題とする」が28%、「教員の自立性への問題、授業管理や人事評価に結びつく恐れがある」が14%であつた(表3-4)。またその他の理由として、「はずかしい」、「教員の負担が増す」などがあつた。

以上をまとめると、授業公開(参観)に否定的な回答の割合は低かつたものの、肯定的な回答も4割強に留まっていた。今回の調査は無記名式を原則としたため、授業公開の是非と授業公開の可否との関連は明らかでないが、授業公開(参観)に肯定的でない回答において授業公開を否とする回答の割合が高くなることは考えられる。授業公開(参観)の実現のためには、授業公開(参観)を否とする理由に対処することが必要である。

③ 判別分析

授業アンケートの目的は各教員がアンケート結果を授業へ活用することにあることから、授業アンケートの活用の有無(図3-3)を目的変数、授業アンケートの有用性(図3-1)お

よび授業公開（参観）の是非（図 3-7）を説明変数として判別分析を行った。分析の過程で「大いに役立った（非常に良い）」および「少し役立った（どちらかといえば良い）」、「どちらでもない」、「余り役立たなかった（どちらかといえば悪い）」および「全く役立たなかった（悪い）」をそれぞれ 1 カテゴリーとし、数量化Ⅱ類により 3 カテゴリーの数量化を行った。

判別分析の結果、授業アンケートの有用性については、「大いに役立った」および「少し役立った」のカテゴリーがアンケート結果の活用の有に、「どちらでもない」あるいは「余り役立たなかった」のカテゴリーが活用の無に判別された。一方、授業公開の是非については、「非常に良い」および「どちらかといえば良い」、「どちらかといえば悪い」および「悪い」のカテゴリーが授業アンケート結果の活用の有に、「どちらでもない」のカテゴリーがアンケート結果の活用無しに判別された（表 3-5-1）。全体の正答率は 66%であったが、活用が無の分類についての正答率は 82%であった（表 3-5-2）。

以上の結果から、今後「学生による授業アンケート」が教員間で更に活用されるためには、有用な授業アンケートへの改善、および授業公開（参観）についての教員の理解が重要と考えられる。

表 1-1 授業アンケートの実施状況

| 実施年度 | 対象学部 | | | | | |
|-------|------|------|------|---------------------------|-----------------|------------------|
| | 社会 | 保健科学 | 社会福祉 | 政策マネ ジメント ¹ | 心理 ² | 文化財 ³ |
| 平成 12 | ○ | | | — | — | — |
| 13 | | ○ | | — | — | — |
| 14 | | | ○ | — | — | — |
| 15 | ○ | | | — | — | — |
| 16 | | ○ | ○ | | — | — |
| 17 | ○ | | | ○ | — | — |
| 18 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — |
| 19 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

¹ 平成 16 年度に新設

² 平成 19 年度に社会福祉学部より昇格

³ 平成 19 年度に社会学部より昇格

図 2-1 平成 20 年度および 19 年度の各項目の分布比率と平均値 (SD)

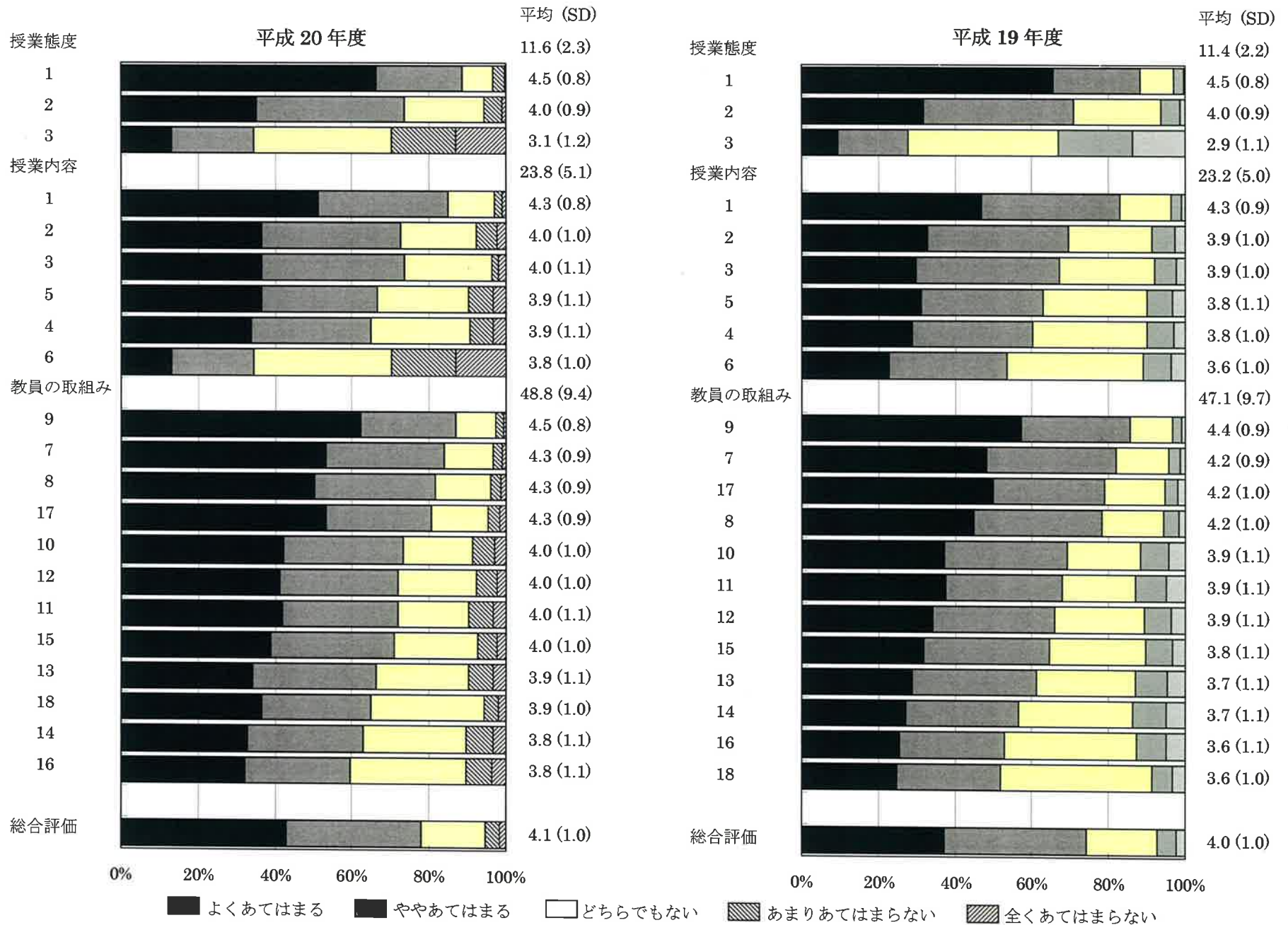


表 2-1 重回帰分析の結果 (ステップワイズ法)

| | 20 年度 | | | 19 年度 | | |
|-------------------------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|
| | B | β | t 値 | B | β | t 値 |
| 定数 | 0.42 | | 19.8* | 0.44 | | 22.1* |
| 質問項目 | | | | | | |
| 10 「授業内容をわかりやすく説明していた」 | 0.27 | 0.31 | 43.7* | 0.29 | 0.32 | 47.3* |
| 15 「授業を受けやすい環境をつくっていた」 | 0.22 | 0.23 | 35.5* | 0.21 | 0.23 | 36.2* |
| 13 「学生の理解に合わせた授業をしていた」 | 0.20 | 0.22 | 31.4* | 0.20 | 0.22 | 31.9* |
| 7 「授業に対して熱意や意欲があった」 | 0.22 | 0.20 | 35.3* | 0.22 | 0.20 | 36.7* |
| 調整済み R ² (%) | | 68.7 | | | 70.4 | |

注：目的変数を「総合評価」とした。

* p<.0.0001

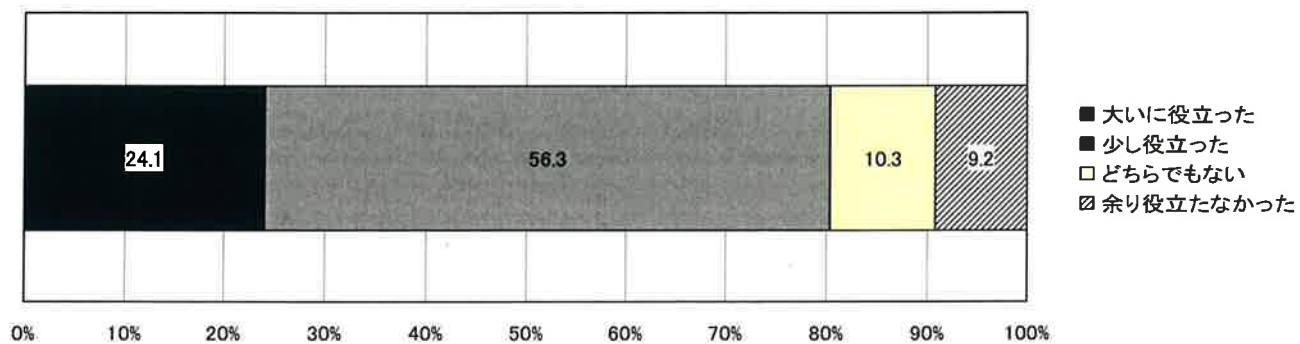


図 3-1 授業アンケートの有用性 (n=87)

■ 大いに役立つ ■ 少し役立つ □ どちらでもない ▨ 余り役立つ ▩ 全く役立つ

授業態度

- 1. 私は授業によく出席していた
- 2. 私は授業に積極的な態度で取り組んだ
- 3. 私は予習・復習などの自主的な学習をした

授業の内容

- 1. 授業で学んだ内容は専門性の高いものだった
- 2. 授業で学んだ内容は興味や関心がもてるものだった
- 3. 授業で学んだ内容は自分を成長させるものだった
- 4. 授業で学んだ内容は就職や進学に役立つものだった
- 5. 授業で学んだ内容は将来の仕事に役立つと感じた
- 6. 授業で学んだ内容は他者に誇れるものだった

教員の取組み

- 7. 教員は授業に対して熱意や意欲があった
- 8. 教員はよく準備された授業をおこなっていた
- 9. 教員はこの教科担当に値する知識経験をもっていた
- 10. 教員は授業内容をわかりやすく説明していた
- 11. 教員は聞き取りやすい話し方をしていた
- 12. 教員は教科書・板書・AV等を効果的に使用していた
- 13. 教員は学生の理解に合わせた授業をしていた
- 14. 教員は学生の反応や意見を活かした授業をしていた
- 15. 教員は授業を受けやすい環境をつくっていた
- 16. 教員は適切に課題を出していた
- 17. 教員は授業時間を守っていた
- 18. 教員は授業に参考となるシラバスを作っていた

総合評価

総合的に判断して私はこの授業を高く評価する

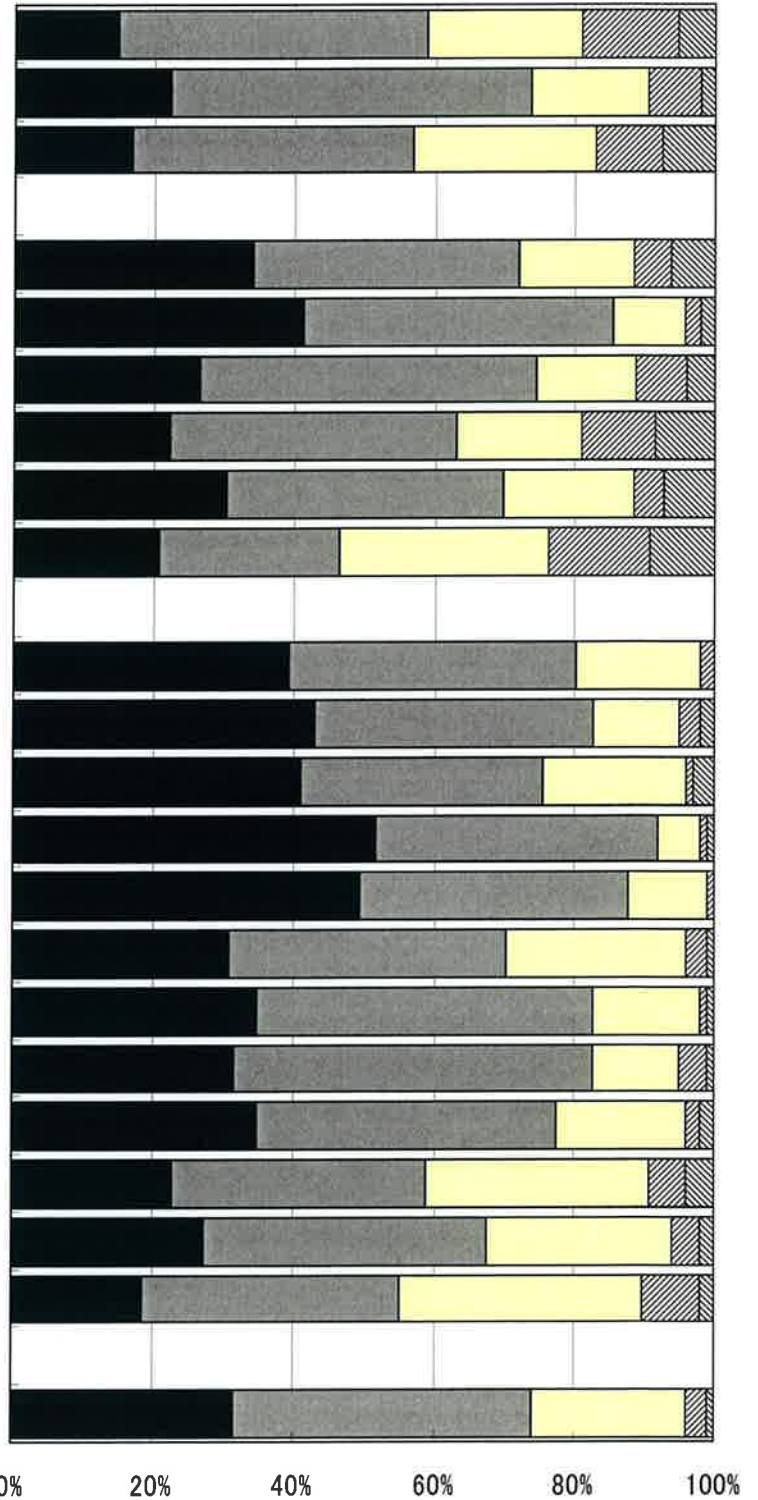


図 3-2 アンケート各項目の有用性

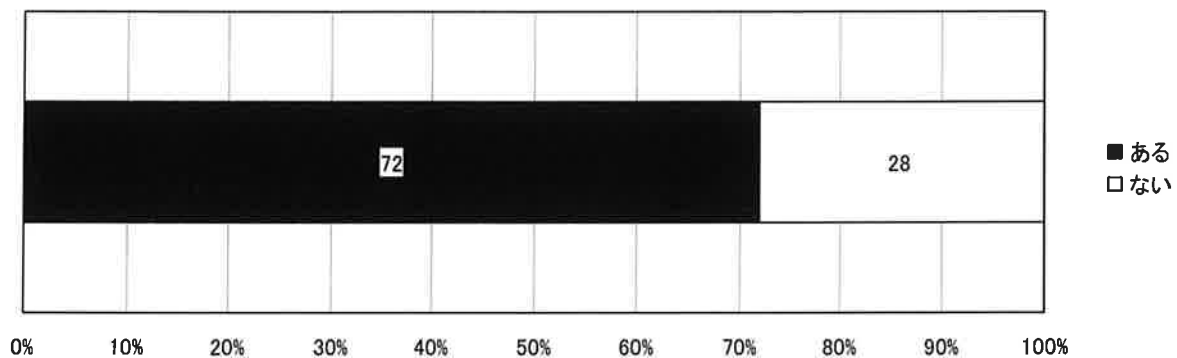


図 3-3 アンケート結果の授業への活用 (n=107)

表 3-1 具体的な改善事項 (n=118)

| 事項 | n (%) |
|--------|-----------|
| 説明 | 28 (23.7) |
| 内容 | 22 (18.6) |
| 教材 | 16 (13.6) |
| 視聴覚機器等 | 13 (11.0) |
| 板書 | 10 (8.5) |
| シラバス | 6 (5.1) |
| 課題 | 5 (4.2) |
| 話し方 | 5 (4.2) |
| 時間 | 2 (1.7) |
| その他 | 11 (9.3) |

注) 複数回答有

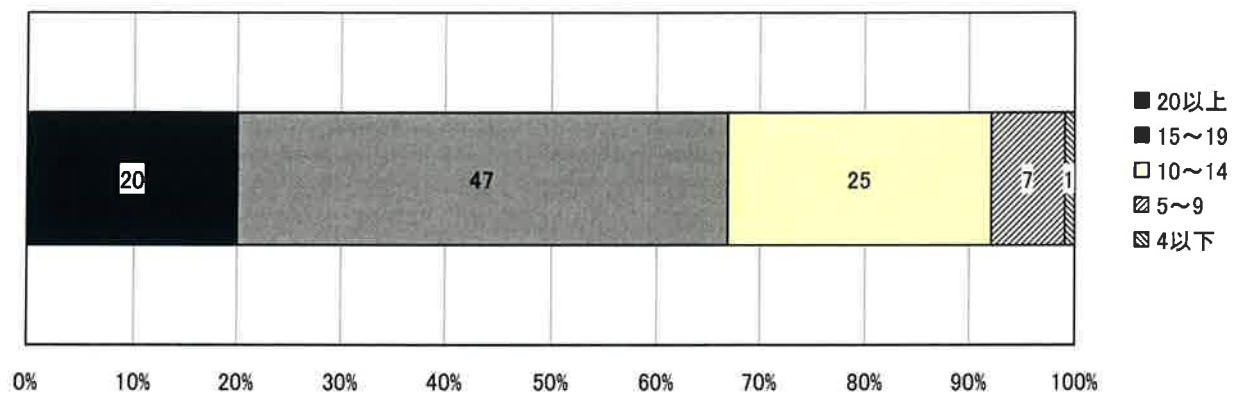


図 3-4 アンケートの質問数 (n=100)

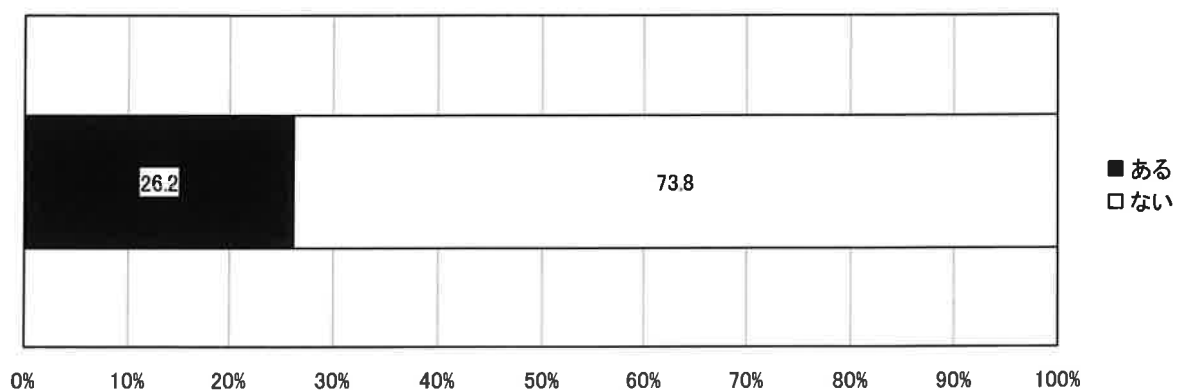


図 3-5 アンケートに追加すべき質問項目 (n=107)

表 3-2 追加すべき質問事項 (n=26)

| 事項 | n (%) |
|------------|-----------|
| 自由回答欄 | 10 (38.5) |
| 授業内容に関する項目 | 6 (23.1) |
| 学生に関する項目 | 5 (19.2) |
| その他 | 5 (19.2) |

注) 追加すべき質問項目以外の回答 (n=9) を除く
複数回答有

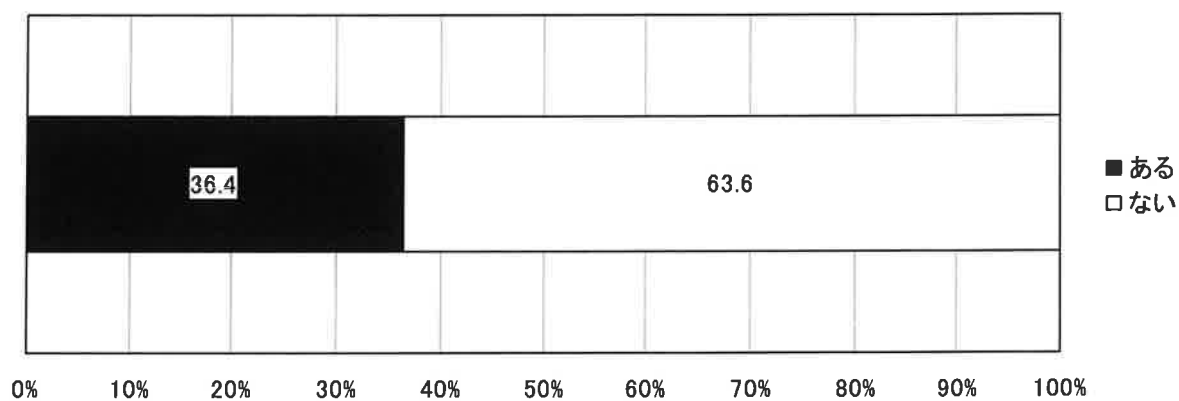


図 3-6. アンケートに不都合な月あるいは期間 (n=107)

表 3-3 不都合な月/期間 (n=18)

| 月/期間 | n (%) |
|---------------|----------|
| 12月～1月 | 7 (38.9) |
| 7月 | 4 (22.2) |
| 授業回数 10 未満の時期 | 3 (16.7) |
| その他 | 4 (22.2) |

注) 不都合な月/期間以外の回答 (n=18) を除く
複数回答有

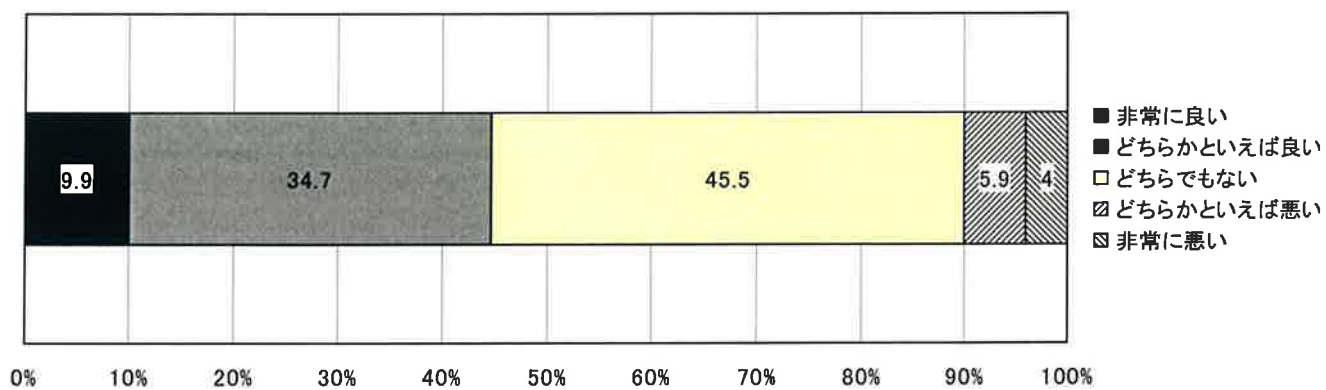


図 3-7 授業公開 (参観) の是非 (n=101)

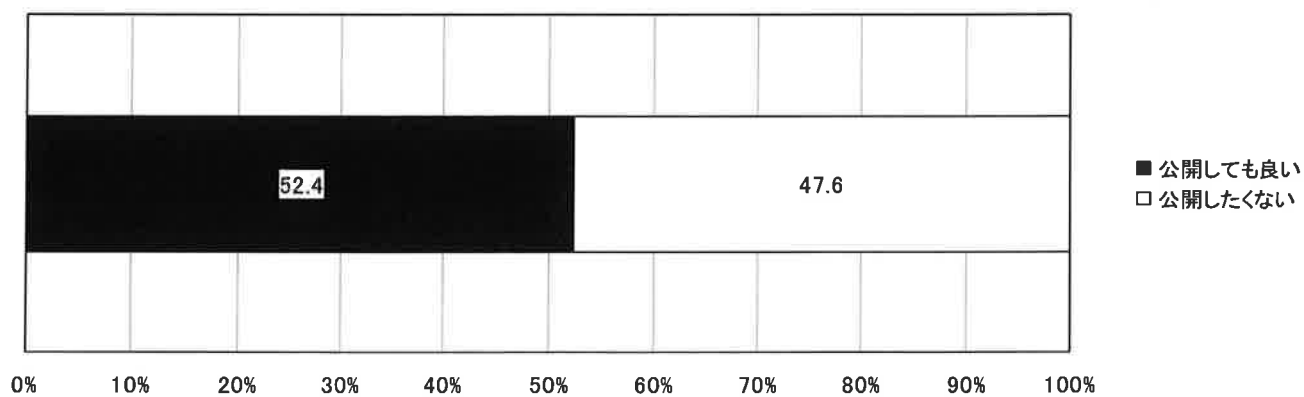


図 3-8 授業公開（参観）の可否（n=107）

表 3-4 公開したくない理由（n=50）

| 理由 | n (%) |
|---------------------|-----------|
| 意義／意味・目的／方法が不明 | 18 (36.0) |
| 参考にならない・今後検討 | 14 (28.0) |
| 教員の自立性・授業管理・人事評価に問題 | 7 (14.0) |
| その他 | 11 (22.0) |

注) 無回答 (n=7)

複数回答有

判別分析の結果 (n=85)

表 3-5-1 数量化の結果

| | カテゴリ | |
|---------------------------------|------------------|-------|
| 授業アンケートの有用性 (x ₁) | 大いに役立った、少し役立った | 0.32 |
| | どちらでもない | -1.85 |
| | 余り役立たなかった | -0.67 |
| 授業公開 (参観) の是非 (x ₂) | 非常に良い、どちらかといえば良い | 0.61 |
| | どちらでもない | -0.73 |
| | どちらかといえば悪い、悪い | 0.39 |

$$Z=1.05 \times (x_1 + x_2) \quad (Z>0: \text{有}; Z<0: \text{無})$$

表 3-5-2 分類結果

| 元のデータ | 予測グループ | |
|------------|-----------|-----------|
| | 有 | 無 |
| 有 | 38 (60.3) | 25 (39.7) |
| 無 | 4 (19.2) | 18 (81.8) |
| 全体の正答率 (%) | 65.9 | |

資料 1 授業アンケートの質問項目

| | | | | |
|---------|---------|---------|------------|-----------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| よくあてはまる | ややあてはまる | どちらでもない | あまりあてはまらない | 全くあてはまらない |

I <授業態度に関する評価>

- | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 私は授業によく出席していた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 2. 私は授業に積極的な態度で取り組んだ | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 3. 私は予習・復習などの自主的な学習をした | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |

II <授業内容への評価>

- | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 授業で学んだ内容は専門性の高いものだった | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 2. 授業で学んだ内容は興味や関心がもてるものだった | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 3. 授業で学んだ内容は自分を成長させるものだった | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 4. 授業で学んだ内容は就職や進学に役立つものだった | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 5. 授業で学んだ内容は将来の仕事に役立つと感じた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 6. 授業で学んだ内容は他者に誇れるものだった | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |

<教員の取組みへの評価>

- | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7. 教員は授業に対して熱意や意欲があった | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 8. 教員はよく準備された授業をおこなっていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 9. 教員はこの教科担当に値する知識経験をもっていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 10. 教員は授業内容をわかりやすく説明していた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 11. 教員は聞き取りやすい話し方をしていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 12. 教員は教科書・板書・AV等を効果的に使用していた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 13. 教員は学生の理解に合わせた授業をしていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 14. 教員は学生の反応や意見を活かした授業をしていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 15. 教員は授業を受けやすい環境をつくっていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 16. 教員は適切に課題を出していた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 17. 教員は授業時間を守っていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
| 18. 教員は授業に参考となるシラバスを作っていた | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |

III <総合評価>

- | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合的に判断して私はこの授業を高く評価する | ⑤ | — | ④ | — | ③ | — | ② | — | ① |
|-----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

資料 2 「学生による授業アンケート」の学科ごとの集計結果

| 学 部 | 学 科 |
|------|----------------------------|
| 社会 | 国際社会 ビジネス・コミュニケーション スポーツ社会 |
| 保健科学 | 看護 理学療法 作業療法 |
| 社会福祉 | 社会福祉 健康スポーツ 子ども福祉 |
| 環境経営 | 環境経営 |
| 心理 | 臨床心理 |
| 文化財 | 文化財修復国際協力 |
| その他 | 非常勤 |

学科名：国際社会

対象教員数：8

対象科目数：29

対象学生数（延べ人数）：1411

EST カテゴリーの平均値（標準偏差）

| EST カテゴリー | 配点 | 平均値（標準偏差） | 100点換算 |
|---------------|----|------------|--------|
| I 学生の授業態度への評価 | 15 | 11.7 (2.5) | 78.0 |
| II 授業内容への評価 | 30 | 22.8 (5.6) | 76.0 |
| III 総合評価 | 5 | 4.0 (1.1) | 80.0 |

分布比率

I 学生の受講態度への評価

- 1 私は授業によく出席していた
- 2 私は授業に積極的な態度で取り組んだ
- 3 私は予習・復習などの自主的な学習をした

II 授業内容への評価

- 1 授業で学んだ内容は専門性の高いものだった
- 2 授業で学んだ内容は興味や関心ももてるものだった
- 3 授業で学んだ内容は自分を成長させるものだった
- 4 授業で学んだ内容は就職や進学に役立つものだった
- 5 授業で学んだ内容は将来仕事をする上で役立つものだの感じた
- 6 授業で学んだ内容は他者に誇れるものだった

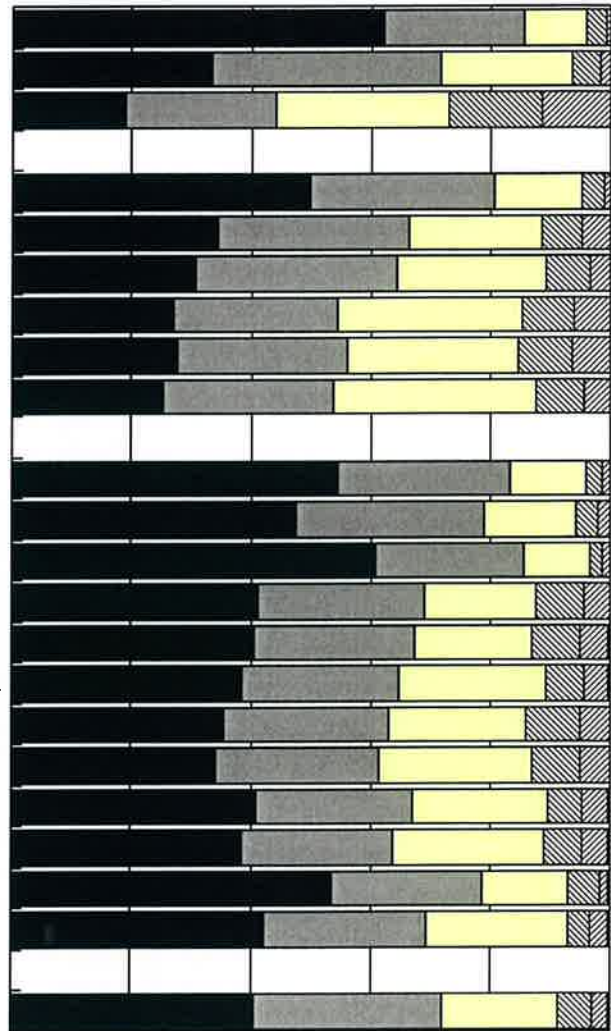
教員の取り組みへの評価

- 7 教員は授業に対して熱意や意欲があった
- 8 教員はよく準備された授業をおこなっていた
- 9 教員はこの科目を担当するに値する経験や知識をもっていた
- 10 教員は授業内容をわかりやすく説明していた
- 11 教員は聞き取りやすい話し方をしていた
- 12 教員は教科書・板書・視聴覚機器などを効果的に使用していた
- 13 教員は学生の理解に合わせた授業をしていた
- 14 教員は学生の反応や意見を活かした授業をしていた
- 15 教員は授業を受けやすい環境をつくっていた
- 16 教員は適切に課題を出していた
- 17 教員は授業時間を守っていた
- 18 教員は授業を受ける上で参考になるシラバスを作っていた

III 総合評価

総合的に判断して私はこの授業を高く評価する

0% 20% 40% 60% 80% 100%



よくあてはまる
 あまりあてはまらない
 どちらでもない
 ややあてはまる
 全くあてはまらない
 無回答